

令和4年度第1回阿久比町循環バス運行連絡会議議事録

日 時 令和5年2月13日（月）13:30 より
場 所 庁舎会議室101
出席者 （委員）7名出席（1名欠席）
（町側）町長 総務部長 防災交通課長
（事務局）防災交通課2名
（オブザーバー）健康介護課職員 バス運行委託会社職員

1. 町長あいさつ

（主な内容）5月からコロナが5類になる。3月13日から学校でのマスク着用の緩和もあるが、循環バスは狭い空間なので、マスクをすぐ着用なしにすることは心配がある。本日は循環バスが町民の足として今後も運行できるよう皆様の忌憚のない意見をいただきたい。

2. 自己紹介

委員改選後最初の会議なので自己紹介を行う。

3. 会長・副会長選出（令和4～5年度）

自薦、他薦等ないため事務局から提案を行い、同意を得た。（留任）

会 長 北中祥子 氏
副会長 大村泰敬 氏

4. 議題

▶会長が議事進行し、最初に事務局よりアグピー号の利用状況について説明。

（1）アグピー号の利用状況について

（事務局より説明）

- ・営業距離ブルー22.5km、オレンジ24.1km バス停数77 車両はハイエース
- ・直近（令和4年4月から12月まで）で、1日当たり約177人が利用
- ・利用の多いバス停は、阿久比駅前、陽なたの丘、アピタ、ピアゴ、カネスエ、阿久比団地、竹内整形外科など
- ・乗客数の月毎の推移、令和2年のダイヤ改正の概要についておさらいをした。
- ・コロナ禍における利用状況として、ブルーライン、オレンジラインそれぞれの北コース、南コースの状況を説明。コロナ直後の乗客数の減少から回復傾向にはあるが、まだまだコロナ前の水準には届かない。

- ・コロナによる乗客減なのかダイヤ改正の影響による乗客減なのか不明である。
- ・利用者アンケートによると、ダイヤ改正以降、6、7割が概ね満足している。
- ・アンケート以外での要望では、町議会議員、行政協力員から、板山地区、阿久比団地、白沢台のルートの延伸があった。また、議会の一般質問では、スポーツ村のバス停留所を交流センター前へ移設できるか問われた。
- ・今後の課題として、利用が増えると現状のハイエースでは対応できなくなる可能性があり、対応策としては、需要の多い時間帯に便数を増やすことが考えられるが、多くの予算が必要になる。また、高齢者の足として機能させるための対応策として、高齢者タクシー券配布と循環バスそれぞれのあり方や、デマンド交通の研究などを行うことを検討していく。

(委員の意見)

循環バスは高齢者にとっても評判が良い。高齢者で免許を返納するなど車を運転できないことで生活に不便が生じている方にも循環バスがあることを説明している。しかし、運賃が無料であるため、全ての費用が町の持ち出しとなっている状況と思われるが、財政的に問題ないか。半田市、東浦のバスは運賃が有料である。

(事務局)

全ての費用を町が持ち出している。物価、人件費が高騰していることから今後さらにバス運行における費用が増加することが考えられる。運賃を有料にするためには、現行の白ナンバーを緑ナンバーにする手続きなど運賃を取るために発生する費用があることなどもあって無料で運行している経緯がある。現状では有料にする予定はないが、将来的に検討する時期が来るかもしれない。

(委員の意見)

バスの運行にいくら予算がかかっているのか。

(事務局)

年間約3,000万円になる。

(委員の意見)

大興タクシーさんに伺いたい。現在、運転手の評判が良いと聞くが、運転手の高齢化などもあると思われ、再雇用対策をどう行っているのか。

(大興タクシー)

乗務員は高齢化している。社員としてバスを運転できるのが定年になる60歳まで。定年後、65歳までは契約社員として運転し、65歳を越えると契約内容が変わる。懸念されるのは、高齢になってきても大型二種免許

の更新に耐えられるか。視力、体力の問題が出てきて更新のハードルが上がってくる。そういう事態に備えて、バスに乗務できる人間を一人でも多く増やしている。

(委員の意見)

高齢者の中には、行きはアグピー号を利用し、帰りはタクシー券を使うなど上手に移動を行う人もいる。ただ高齢者は荷物が多い人もおり、ブルー、オレンジ共に阿久比駅で発着してくれるので有難い。ただし、乗車に間に合わない時に運転手に出発を少し待っていただくこともある。あまりに遅れるとダイヤに遅れも生じてしまうため、その辺りは大丈夫なのか。

もう一つ、今なかなかタクシーがつかまらない。巽が丘駅に移動してから乗ろうとしてもつかまらないという話を聞いた。タクシー業界も運転手不足、コロナで車両が減少していると高齢者の方から聞いている。

(大興タクシー)

タクシー業界全体でドライバーが高齢化している。また、阿久比町に車庫を持っているタクシー会社がない。大体名鉄の駅前にいけばタクシーの看板はあるが、常に車はない。弊社も営業所が東浦になるため、大府、東浦が主要エリア。阿久比まで行くのに時間がかかってしまう。

(委員の意見)

利用者アンケート結果は、バスに乗られた方の結果であり満足された方が多いとのことだが、中には利用したくてもできない方の声もあると思う。それぞれの行政協力員からの意見としてあるのは、ルートの延伸とバス停の増加であるが、集落の半分までしか来ていない地区もあり、予算の問題もあると思うが、ルートの延伸とバス停の増加を要望したい。

(委員の意見)

乗りこぼし人数の推移で、令和元年11月は70件と非常に多かったが、これはどういう理由からか。

(事務局)

ダイヤ改正前は宮津山田、宮津団地が一番乗りこぼしが多く、その積み上げになっているのがほとんど。ダイヤ改正で朝一番(101便)の便で阿久比駅到着後、もう一度宮津山田、宮津団地に向かうことで解消している。

(委員の意見)

利用者からの要望なのか、データから調べたのか。

(事務局)

データに基づき、乗りこぼしを減らすことができるようダイヤを改正した。

(委員の意見)

利用者の声を見ると、ほぼ運行に苦情がないとのことだが、これからも定期

的にアンケートを参考にしながら変更など検討していただきたい。

(2) 次回ダイヤ等の改正について

(事務局より説明)

現ダイヤは利用者の動向に沿った改正となっている。依然として増便やルート延伸を望む声もあるが、ダイヤ改正は変更の大小に関わらず、多額の金額を投入する必要がある。従来は運行業務委託契約と合わせてダイヤ改正を行っており、直近では令和5年10月を控えているが、乗りこぼしも少なく、アンケートによる満足度も高い現状を鑑みると、ダイヤ改正は運行業務委託契約の時期に合わせることに拘らず、増便やルートの延伸など町のバス事業として大きな変更を行う場合に改正する方法もある。

(委員の意見)

アンケートの内容の中で、名鉄電車との接続に余裕がないという意見があったため、運行時間の考慮をお願いしたい。車内の暖房が暑いという意見もあったので配慮してほしい。

(委員の意見)

利用者は阿久比駅、病院、買い物、どの目的が多いのか。

(大興タクシー)

乗務員として回答します。朝の場合は、ブルーラインは阿久比駅、坂部駅、オレンジラインは巽ヶ丘や近くの病院、また、阿久比駅に着いて、竹内整形、ハーブ内科など病院に行く方もいる。10時を過ぎると、名古屋から名鉄電車に乗ってくる方など、電車に乗る方と買い物に行く方が合わさって人数が増えるという傾向があり、目的としては分散されている。買い物客が多いとオレンジに乗りこぼしが出ることもある。

(委員の意見)

運転手の休憩は充分取れているか。

(大興タクシー)

便と便の間に最低限15分休憩が取れる。乗務員は4時間運転したら必ず30分休むことが必要。また、昼には1時間休憩できるようにしてある。現在、運転手が休憩時間を取れるようにダイヤが組まれているが、道路状況によっては休憩が少なくなる場合もある。

(委員の意見)

次回ダイヤ等の改正に関して、利用報告書のアンケートを見てもらうと、過去はルートに対する要望が多かったが、最近は若い人、壮年の人の意見で夕方便を増やしてほしいという声があり、高齢者からは昼中(運転手の休憩のためバスを走らせていない時間)にもバスを走らせてほしいという声がある。

あった。車両を増やすのは大変だが、運転手さんを２交代にして昼中に便を増やすことで対応するなど考えてほしい。

(事務局)

貴重なご意見として伺わせていただく。

(会長)

確認させていただくが、事務局としてはダイヤ改正を令和５年１０月に行うことに拘らず、その翌年以降に対応したいということで良かったか。

(事務局)

今のところ、実際にダイヤ改正が必要な時に行うことを考えている。

(会長)

特にご異議、ご意見はないか。

(委員の意見)

前回のダイヤ改正でカネスエに行くことになったのは良かった。利用者が増えたとし、知多市との接続もできた。

(会長)

時期に応じた変更を素早く行っていただくことがアグピー号の特長だと思う。それでは、ダイヤ改正の時期については事務局にお任せするということが良かったか。

(異議なし)

(会長)

では、ダイヤ改正は令和５年１０月に改正することに拘らず、その翌年以降に対応することも視野に入れて検討することよろしいか。

(異議なし)

(会長)

では、ご同意いただいたということでありがとうございます。

(３) 意見交換

(委員の意見)

白沢台の人々が県道にある白沢台のバス停まで出ていくことが大変だという話を聞くが、実態はどうか。また、会議資料が大変上手にできている。有難かった。

(委員の意見)

白沢台の住民で多くの方は福住の停留所も利用している。交差点にはコンビニもある。団地の奥に住む方は階段で降りてくる方もいる。団地の中まで来てもらえると有り難いが、やはりルート全体の時間が延びてしまう。バスだけではなく、タクシー券を利用する人もいる。白沢台のバス停、福住のバ

ス停の両方を使っているという現状がある。

(委員の意見)

循環バスが主要な道を走ることは承知しているが、地域の手前までではなく、増便、ルートの延伸の費用の考え方を聞きたい。また、行政協力員の要望の集約をしてほしい。ぜひお願いしたい。

(事務局)

予算はなかなか厳しいものがあって難しい部分もあるが、地域交通はいろいろなやり方がある。循環バス、タクシー券もあるし、デマンド交通という予約制での交通サービスを行う自治体もある。様々なものを多角的に組み合わせることが利用者のためになっていくのではないかと思う。

(会長)

コロナで生活様式や意識が変わった人もいる。今の事務局の発言でもあったように、やり方はいろいろあると思う。住民も妥協や協力をしながらバスを利用しやすい方向に成長させていくことができればと考える。

(委員の意見)

乗客で杖をついている方はいるか。

(大興タクシー)

時々みかける。ほとんどの方は歩くのに支障がある。シルバーカートは良く見かける。

(委員の意見)

運転手さんが乗客の乗り降りを手伝うことはできないか。

(大興タクシー)

その都度運転手が降りて手伝うとダイヤが遅れてしまう。

(委員の意見)

お客様同士のお手伝いは見たことはあるか。

(大興タクシー)

見たことはある。

(委員の意見)

協力を促すような表示をしてもらえると良いかなと思う。

(会長)

優しい言葉、思いやりが必要。できるならばアンケートに書き添えていただくなど必要かと思われます。交通弱者への配慮は大切なので対応をお願いしたい。

(委員の意見)

高齢者タクシーの配布と利用状況を知りたい。

(健康介護課)

令和4年度の1月の段階の利用者数2,209人で、4月から12月までの利用枚数が11,782枚。これは令和3年度の実績と比べてもほぼ同等のペースである。令和3年度は利用者数が2,223人で利用回数が15,625回枚ある。

(委員の意見)

タクシー券の費用はどれくらいかかっているのか。

(健康介護課)

令和3年度の決算は935万5,680円である。

(委員の意見)

そうすると、循環バスと合わせて4,000万円近くになることが理解できた。

(委員の意見)

デマンド交通について何か研究はしているのか。

(事務局)

他の市町の状況を調べている段階である。デマンドはいろんな行い方があり、ドア・ツー・ドア（ドアからドアへ直接アクセスできること）や循環バスで使用しているサイズくらいの車両を予約制にする、また山間部なら山間部に合わせた行い方を行っている。また、目的、人、時間などに特化する行い方もある。

(委員の意見)

テレビなどでも見たことがある。

(会長)

有意義な意見をたくさんいただいた。本日はありがとうございました。